令 和 7 年 度

更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書

（令和６年度対象）

令和７年１２月

更 別 村 教 育 委 員 会

は　じ　め　に

平成 20 年４月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、教育委員会の事務管理・執行状況について点検し、評価をすることが義務付けられました。

この改正により、平成 19 年度分以降の教育行政に関する点検・報告につきまして、更別村議会に教育行政報告を行っているところです。

開かれた教育委員会を目指し、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民の皆様へ教育委員会が執行した活動状況はもとより、「第６期更別村総合計画」及び「第９次社会教育中期計画」を基準とした実施状況等、事務の管理・執行状況について点検し評価を行い、令和６年度の事業等を対象として報告書を作成しましたので、ここに公表致します。

更別村教育委員会は、学識経験者の意見を踏まえ、この点検・評価を通じて教育施策を着実に推進してまいりたいと考えていますので、ここに村民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和７年１２月

更別村教育委員会

目　　次

第１章　教育委員会の活動状況

１．教育委員会の会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

２．教育委員会関係規則等の制定及び改正状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

３．教育委員会委員の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

４．各種委員会等の設置及び概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０

５．令和６年度教育予算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
（１）予算編成
　○当初予算・補正予算
（２）教育費の予算
（３）重点施策に関連する主な事業決算額

６．頑張る子供たちへの支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９

７．その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
　○令和６年度各会計決算資料の掲載事項

第２章　第６期更別村総合計画に基づく評価

１　社会教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２２

２　芸術、文化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４

３　スポーツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

４　子育て支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２８

５　学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０

６　青少年育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３

７　国内外交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４

◇　データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

８．令和６年度　教育委員会の事務・事業　評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８
（１）評価の目的
（２）評価の区分
（３）評価書のランク
（４）事務・事業ごとの評価

○事務・事業評価書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４１

第１章　　教育委員会の活動状況

第 1 章 の ポ イ ン ト
教育委員会の会議の状況や規則等の制定・改正、委員の活動状況、各種委員会の設置状況など、令和６年度に教育委員会が行った活動状況について整理しています。

１． 教育委員会の会議の開催状況

更別村教育委員会の会議は公開を原則として、以下のとおり開催しています。
この会議では、教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則の制定・改正などを含む様々な議題について審議しています。

期　日	付　議　案　件　等
令和６年４月 12 日	（報告） ・令和６年度学級編制の認可及び児童生徒数等について　他７件 （議案） ・令和６年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について　他２件
令和６年５月 21 日	（報告） ・更別村教育委員会教育長の任命について　他６件 （議案） ・更別村立学校管理規則の一部を改正する規則制定の件について　他３件
令和６年６月 20 日 （移動教育委員会議）	（議案） ・令和６年度第 12 地区教科書採択地区調査委員会委員の推薦について
令和６年７月 16 日	（報告） ・教育行政報告について （議案） ・令和６年度要保護及び準要保護児童の追加認定について　他１件
令和６年８月 26 日 （移動教育委員会議）	（議案） ・令和６年度教育費補正予算（案）の提出について　他２件
令和６年９月 25 日 （移動教育委員会議）	（報告） ・更別村教育委員会委員の任命について　他２件
令和６年 10 月 22 日	（報告） ・令和６年度全国学力・学習状況調査結果（速報）について　他３件 （議案） ・更別村文化賞・スポーツ賞等受賞者の決定について
令和６年 11 月 19 日	（議案） ・令和６年度更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書（案）の提出について　他２件
令和６年 12 月６日	（議案） ・更別村立学校職員の在宅勤務実施要領の制定について
令和６年 12 月 20 日	（報告） ・更別村どんぐり塾の開催について　他３件

令和７年１月 17 日	（報告） ・令和６年度教育費補正予算の提出について　他３件
令和７年２月 20 日	（報告） ・各種委員会委員の委嘱について　他２件 （議案） ・令和７年度教育行政執行方針（案）の提出について　他８件
令和７年３月 19 日	（報告） ・令和７年度各種職員の採用について　他３件 （議案） ・更別村教育委員会職員人事の承認について　他５件

２．　教育委員会関係規則等の制定及び改正状況

令和６年度において制定及び改正された教育委員会関係規則等は次のとおりです。

〇教育委員会関係規則等

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
(R6 年) 1	・　更別村立学校管理規則の一部を改正する規則制定の件	R6. 2.22	R6. 4. 1
2	・　更別村学校給食センター管理規則の一部を改正する規則制定の件	R6. 3.15	R6. 4. 1
3	・　更別村学校給食センター運営委員会規則の一部を改正する規則制定の件	R6. 3.15	R6. 4. 1
4	・　更別村学校給食費徴収規則制定の件	R6. 3.15	R6. 4. 1
5	・　更別村立幼稚園管理規則の一部を改正する規則制定の件	R6. 3.15	R6. 4. 1
6	・　更別村立認定こども園上更別幼稚園管理規則の一部を改正する規則制定の件	R6. 3.15	R6. 4. 1
7	・　更別村立学校管理規則の一部を改正する規則制定の件	R6. 5.22	R6. 4. 1
(R6 年) 1	・　更別村ふるさと給食事業実施要綱制定の件	R6. 3.15	R6. 4. 1
2	・　更別村学校給食費無償化事業実施要綱制定の件	R6. 3.15	R6. 4. 1

3	・　教諭等の標準的な職務の内容及びその例並びに教諭等の職務の遂行に関する要綱制定の件	R6. 5.22	R6. 4. 1
4	・　事務職員の標準的な職務の内容及びその例並びに事務職員の職務の遂行に関する要綱制定の件	R6. 5.22	R6. 4. 1
5	・　養護教諭及び栄養教諭の標準的な職務の内容及びその例並びに職務の遂行に関する要綱制定の件	R6. 5.22	R6. 4. 1
6	・　更別村学校給食費滞納整理等事務処理要綱制定の件	R6. 7.16	R6. 7.16

３．　教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員会の会議に出席するほか、学校行事、各種団体等の行事等に出席し、直接学校関係職員や地域の皆様のご意見を伺うなどの活動を行っています。

〇主な活動状況

年月日	活　動　内　容	委員名
(R6 年)		
4/ 4	教職員辞令伝達式	佐藤委員他３名
4/ 6	更別幼稚園入園式	佐藤委員他３名
4/ 7	認定こども園上更別幼稚園入園式	佐藤委員他３名
4/ 8	更別小学校入学式	寺井委員他１名
	上更別小学校入学式	佐藤委員他１名
	更別中央中学校入学式	佐藤委員他３名
4/12	第１回教育委員会議	佐藤委員他３名
5/17	令和６年第３回更別村議会臨時会	佐藤委員
5/21	第２回教育委員会議	佐藤委員他３名
5/29	南十勝教育振興会役員会・総会	佐藤委員
6/ 1	更別中央中学校体育祭	佐藤委員他２名
6/ 8	更別小学校運動会	佐藤委員他１名

6/ 8	認定こども園上更別幼稚園・上更別小学校合同運動会	本間委員
6/20	第３回教育委員会議	佐藤委員他３名
7/ 6	更別幼稚園運動会	佐藤委員他２名
7/16	第４回教育委員会議	佐藤委員他３名
7/16～18	第 59 回北海道市町村教育委員研修会	佐藤委員他３名
8/26	第５回教育委員会議	佐藤委員他３名
9/ 9	飛び出せワールド（国際交流）事業「ホームステイ体験 in 沖縄」事業報告会	本間委員他１名
9/25	第６回教育委員会議	佐藤委員他３名
10/ 5	更別中央中学校文化祭	佐藤委員他１名
10/22	第７回教育委員会議	佐藤委員他２名
10/29	十勝教育を考えるつどい	佐藤委員他３名
11/ 3	更別村文化賞・スポーツ賞等表彰式	佐藤委員他３名
11/ 8	更別小学校学習発表会	佐藤委員他２名
11/ 9	認定こども園上更別幼稚園・上更別小学校合同学習発表会	佐藤委員他３名
11/12	更別農業高等学校公開授業	寺井委員他１名
11/16	更別幼稚園学習発表会	佐藤委員他３名
11/19	第８回教育委員会議	佐藤委員他２名
11/20	第 54 回更別村教育研究大会	佐藤委員他３名
12/ 6	第９回教育委員会議	佐藤委員他３名
12/20	第 10 回教育委員会議	佐藤委員他３名
(R7 年) 1/12	令和７年二十歳を祝う会	佐藤委員他３名
1/17	第 11 回教育委員会議	佐藤委員他３名

1/17	令和６年度二村教育委員研修会	佐藤委員他３名
1/24	村づくり懇談会	神成委員
1/28	十勝管内市町村教育委員会委員研修会	佐藤委員他３名
1/31	南十勝教育長・教育委員研修会	佐藤委員他３名
2/16	令和６年度更別村の教育を考える村民集会	佐藤委員他３名
2/20	第 12 回教育委員会議	佐藤委員他３名
2/22	更別小学校開校 100 周年記念式典	佐藤委員他３名
3/ 1	令和６年度更別農業高等学校卒業式	寺井委員他１名
3/ 4	教育奨励賞授与式（上更別小学校）	本間委員
3/ 7	教育奨励賞授与式（更別小学校）	寺井委員
	教育奨励賞授与式（更別中央中学校）	神成委員
3/12	教育奨励賞授与式（更別農業高等学校）	佐藤委員
3/14	更別中央中学校卒業式	佐藤委員他２名
3/21	第 13 回教育委員会議	佐藤委員他３名
3/24	更別小学校卒業式	佐藤委員他１名
	上更別小学校卒業式	本間委員他１名
3/25	更別幼稚園卒園式	佐藤委員他３名
3/26	認定こども園上更別幼稚園卒園式	佐藤委員他３名

４． 各種委員会等の設置及び概況

更別村教育委員会に設置している主な審議等の機関及び令和６年度における開催実績等は下記のとおりです。

名　称	委員数	会議回数	内　　容	開催年月日
更別村学校教育推進協議会	12	2	学校教育の指導向上を図るため、教職員の研究事業並びに小中学校等の文化、体育の各種事業を通じて教職員が交流を深め、もって児童・生徒の学力の向上と豊かな人間性を醸成に資することを目的とする。	R6. 4.19 R7. 3. 7
更別村小・中学校学校運営協議会	10	4	（更別小学校） 保護者・地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善・児童生徒の健全育成に取り組むとともに、学校の支援組織として学校が協力を求める事業に積極的に関わる。	R6. 4.30 R6. 8.26 R6.12. 3 R7. 2.18
	10	4	（上更別小学校） 同　　上	R6. 4.30 R6. 8.26 R6.12. 4 R7. 2.20
	10	4	（更別中央中学校） 同　　上	R6. 4.30 R6. 8.26 R6.12.11 R7. 2.26
更別村教育支援委員会	9	3	就学児童や学齢児童･生徒の適正な就学指導、特別支援学級の活動を支援する。	R6. 5.28 R6.11.27 R6.12.17
更別村教育研究所	8	4	更別村教育の今日的な課題を明らかにするとともに、学校教育実践上の課題について調査研究を進め、教育推進の充実に資する。	R6. 5.14 R6. 7. 8 R6. 9.25 R6.12.16

更別村社会教育委員	7	4	社会教育全般に関する諸計画立案や調査研究を行う。	R6. 5.23 R6.10. 4 R6.12. 9 R7. 3.13
更別村スポーツ推進委員	5	5	スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整及び実技指導、指導・助言を行う。	R6. 5.13 R6. 7.19 R6. 9.30 R6.12.11 R7. 3.11
更別村学校給食センター運営委員会	8	3	更別村教育委員会の諮問等に基づき、学校給食センター運営の重要事項の審議、協議を行う。	R6. 6.11 R6.12.23 R7. 3.12
どんぐり子供交流委員会	13	4	東松島市と更別村の児童が互いに市村を訪問し交流を行う事業の企画・運営を行う。	R6. 5.28 R6. 6.18 R6. 7.17 R7. 3.26
総合誌さらべつ編集委員会	6	5	総合誌さらべつの原稿募集、編集、発刊を行う。	R6. 8.23 R6.10.10 R7. 1.14 R7. 2. 4 R7. 3. 4
更別村コミュニティ・スクール委員会	11	4	各学校運営協議会・教育委員会・みんなの学校応援団等と連携を図り、意見・情報交換の場としてコミュニティ・スクール全般に関わることを協議する。	R6. 4.30 R6. 8.26 R6.11.18 R7. 3. 5
部活動地域移行検討協議会	12	2	子どもたちのスポーツ・文化活動を継続して親しむことができる環境作りを構築するため、部活動のあり方等を検討・協議する。	R6.11.18 R7. 3. 5

５．令和６年度教育予算の状況

（１）予算編成

〇当初予算・補正予算

「更別村教育目標」には、大きな４つの柱があります。

１）人と人との関わりや生命を大切にし、積極的に運動し自らを鍛え、強い意志と美しい心を持ち、日々の生活を楽しいものにする。

２）世の中の情報に関心を持ち、自ら考え正しい判断をし、相手の立場を認め思いやりを持ち、豊かな生活を築く。

３）自ら学び続けて教養を身につけ、文化に触れて心豊かな生活を生み出す。

４）先人の努力に学び、恵まれた自然を生かし、歴史や伝統を踏まえ、平和で心豊かな潤いのある生活を生み出す。

４つの教育目標の実現を図るため、教育行政執行方針を基に「第６期総合計画」で掲げる事業を推進し、その関連に沿って施策の見直しを行い、教育に対する村民の意識や関心を高め、家庭・学校・地域が連携協働のもと、学校教育、社会教育の発展を図るため、諸般の施策を限られた財源の中で重点的・効果的に活用することを基本とし、予算編成を行いました。

学校教育の充実では、豊かな心と確かな学力の定着を目指し、自ら問題を解決するための資質と能力「生きる力」を育み、自主性を高め、主体的・対話的で深い学びが得られる学校づくりを鋭意進めています。

学習指導要領改訂に伴い、令和２年度から小学５・６年生の外国語が教科化されており、令和６年度は令和３年度から引き続き、中札内村と共同で外国語の専科教諭を配置するとともに、サポートとして外国語指導助手（ＡＬＴ）を委託により引き続き確保しました。併せて、小学３・４年生の外国語活動は外国語専科教諭の他にＮＰＯ法人から日本人ＡＬＴを派遣・配置することにより、外国語に親しみやすい環境を構築してきました。また、中学生の英語授業は外国人ＡＬＴを派遣委託契約により確保し、英語授業でのネイティブスピーカーとしての役割等を図ることとしています。

小学校は令和２年度から、中学校は令和３年度からプログラミング的思考を育てる教育が必修化されたことから、研修等を活かして授業に取り組み、未来を切り拓いていく力の醸成を図っています。

いじめや虐待が原因と思われる痛ましい事件が後を絶たず、体罰・不登校問題など様々な事案も社会問題化しています。個々の抱える事象に対し、身近に相談できる体制構築が重要なことから、令和５年度より２名のスクールカウンセラーを配置し、学校・家庭・地域の連携協力のもと、早期発見と早期対応に努めています。

教育上の特別な配慮が必要な児童生徒に対して各学校に特別支援教育支援員を配置し、個々の状況に応じたきめ細やかな学習体制の構築を図っています。

教職員の教育力向上及び研修活動の推進に関し、中札内村との指導主事の共同設置を継続して行い、積極的な情報提供や研修活動の推進を図りました。

上更別幼稚園は、平成 30 年４月に、ゼロから２歳児の保育、子育て支援などの機能を併せ持った認定こども園として整備し、地域における子育て環境の充実を図っています。

更別農業高等学校への教育支援では、生徒確保の対策として、スクールバスの運行経費、路線バスの乗車費用負担等の助成を行うとともに、各種資格取得経費への助成などを継続して実施し、令和６年度より一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームでの地域みらい留学による本州からの入学者確保のための参画費用を助成していますが、少子化等の影響により生徒数確保が引き続き難しい状況にあります。また、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う国際情勢の不安及び渡航費用の高騰により、海外実習派遣事業を中止しています。また、校舎等の改修・

設備備品等の整備につきましては、北海道教育庁への要請活動を実施しましたが、厳しい道財政の中にあって要請した項目について実施には至りませんでした。

村立学校施設設備の改修では、更別小学校のグラウンド改修工事の他、学校給食センター改築に伴う高圧受電設備移設工事、浄化槽解体工事、記念植樹移設を行うほか、各小中学校に電子錠及びインターホンの設置工事を行い防犯対策を図りました。また、令和５年 10 月の村議会臨時会において予算計上を行い工事を進めていました幼稚園、各小中学校の普通教室、職員室及び校長室へのエアコン設置工事は７月末までに設置が終了し、順次稼働しています。

また、体育館の猛暑対策として大型気化熱冷風機を導入しましたが、騒音や気化熱を利用し周りを冷やす機能のため、熱がこもる影響により利用状況が少ない結果となりました。

その他、令和５年度より高校生等入学支援金事業として、高等学校等に入学した生徒の保護者を対象に、現金５万円とどんぐり商品券５万円分の入学支援金を支給し、経済的負担の軽減及び生徒の健全な育成を助長することとしています。

生涯学習・社会教育の推進につきましては、「第９次社会教育中期計画」に基づき事業を推進しました。

青少年教育では、毎年中札内村と共同開催している青少年劇場は、幼児の部、小学低・高学年及び中学生の部とそれぞれ実施し、子供たちが本格的な芸術文化に触れ合う機会となっています。友好姉妹都市であります東松島市とのどんぐり子供交流事業につきましては、更別村を会場として小学５・６年生を対象に実施することができました。

成人教育に係る講座開催につきましては、夏季講座及び冬季講座を開催し、住民の方への学習機会の提供を実施しました。

高齢者教育の末広学級は、運営委員会と事務局が中心となり計画性を持って事業を進めることができたところです。

文化の振興では、ヤチカンバ保護対策を推進するため、令和５年度に実施した保護地域内の優先区域でのエゾヤマナラシの防除及び植生再生試験の追跡調査を実施しました。また、文化協会及び郷土芸能活動発展へ向けての支援を継続して行っており、総合文化祭を文化協会が中心となり開催しています。

国際交流事業であります中学生海外研修事業は、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う国際情勢の不安の他、渡航費用の高騰や海外での研修に不安を持つ家庭もあることから、今年度は沖縄県で外国人とチームを組んでミッションをクリアするフィールドワークとホームステイ体験を実施しました。

平成 31 年度にスタートしました更別村コミュニティ・スクールは、令和２年度に策定したアクション・プランに掲げられた項目の重点化を行い、各学校運営協議会、コミュニティ・スクール委員会、どんぐり村子ども会議で熟議を深めました。なお、各学校運営協議会及びみんなの学校応援団の地域一体的な取組みが評価され、令和７年２月に文部科学大臣表彰を受賞しました。

現在、多くの中学生が部活動に参加していますが、全国的に生徒数の減少や多様化、教職員のなり手不足等の影響により単独での部活動運営が難しくなることから、学校と地域が一体となり、将来にわたって子供たちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、部活動の地域展開（部活動改革）を進めていく必要があることから、今年度は児童生徒や保護者及び中学校部活動担当教員にアンケート調査を実施しました。今後も引き続き委員会等で協議を行い具体策等を検討する必要があります。

スポーツ活動の振興では、スポーツ少年団や村内各スポーツ団体が主催する各種大会が開催されています。また、教育委員会主催のどんぐり健康マラソン大会は、関係団体の協力のもと実施することができました。

体育施設につきましては、令和５年度より柔剣道場、農業者トレーニングセンター及びコミュニティプールを令和９年度まで株式会社オカモトに指定管理委託し運営実施をしています。なお、施設改修につきましては、更別運動広場の野球場バックネット改修工事のほか、テニスコート側屋外トイレの改修と、コミュニティプールは自動ドア装置更新、循環ろ過装置ポンプ交換修繕、オイルポンプ交換工事、農業者トレーニングセンターはアリーナの一部ウレタン塗装工事、階段塩ビシート張替工事を行いました。

学校給食では、学校の働き方改革を推進するため、私会計運営だった学校給食費を令和６年度当初から公会計へ切り替えました。これに伴い、ふるさと給食助成事業、小中学校通じて二子目は給食費の半額相当、三子目以降はその全額を助成する保護者負担軽減事業、学校給食費無償化事業、私会計運営組織へ支出してきたこれらの助成事業を廃止し、保護者負担軽減事業を無償化事業へ統合した上で、ふるさと給食事業とともに村で直接実施することとし、引き続き学校給食の普及充実を図っているところです。

築40年以上が経過し、国が定める学校給食衛生管理基準に適合していない学校給食センターは、令和７年度改築工事、令和８年４月の供用開始へ向け、今年度実施設計業務を行っております。

（２）教育費の予算

令和６年度教育費の予算現額は758,344千円で一般会計予算額の約11.08%を占め、前年度と比較し14,075千円の減額となりました。

教育費における項・目別予算現額の内容は次のとおりです。

○令和６年度教育費予算額の内容（項・目別予算）　（単位：千円）

項及び目	予算額	項及び目	予算額
１　教育総務費	173,333	５　社会教育費	71,617
（1）教育委員会費	37,654	（1）社会教育総務費	29,152
（2）事務局費	135,172	（2）社会教育施設費	42,465
（3）こども夢推進費	507	６　保健体育費	145,721
２　小学校費	197,427	（1）保健体育総務費	4,307
（1）学校管理費	196,105	（2）体育施設費	83,962
（2）教育振興費	1,322	（3）学校給食費	57,452
３　中学校費	60,720	７　教育諸費	8,588
（1）学校管理費	59,956	（1）研究奨励費	2,772
（2）教育振興費	764	（2）学芸奨励費	3,644
４　幼稚園費	100,938	（3）財産管理費	2,172
（1）幼稚園管理費	100,938		
		計	758,344

（３）重点施策に関連する主な事業決算額

施策名：高等学校教育の振興・支援（教育総務費補助金）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
更別農業高校生徒確保等支援事業	公立高等学校配置計画による学校再編が進む中、現行の学級数維持を図るため、村内外の入学者に対する通学費等の補助及び「地域みらい留学」参画による生徒確保の取組みを行い高校の活性化を図る。	26,280
更別農業高校教育支援事業	寮運営、農業関係活動費等の支援を行うことにより、教育の振興発展と地域に根ざした信頼される学校づくりを図る。	3,950

施策名：教育環境・内容の充実（小学校）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
特別支援教育支援員配置事業	一人ひとりの子供に対するきめ細やかな対応に資するため、両小学校に特別支援教育支援員を配置し、良好な学習環境の拡充を図る。（計４名）	12,975
外国語指導推進事業	外国語教育の充実と国際理解教育推進向上を図る。 ・外国語指導助手（ALT）※３・４年計 70 時間対応	1,118
施設改修事業 （更別小学校）	施設の整備を行い教育環境の向上を図る。 ・グラウンド改修工事 ・高圧受電設備移設工事 ・記念植樹移植工事 ・浄化槽解体工事 ・電力計移設工事 ・スケート管理棟受電工事	78,589 (24,640) (40,865) (384) (5,500) (414) (374)
（両小学校共通）	・電子錠設置、保健室カーテン取付 （R5 から繰越事業　エアコン設置工事）	6,412 (45,322)

施策名：教育環境・内容の充実（中学校）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
特別支援教育支援員配置事業	一人ひとりの子供に対するきめ細やかな対応に資するため、中学校に特別支援教育支援員を配置し、良好な学習環境の拡充を図る。（２名）	6,652
スクールカウンセラー配置事業	専門的な知識を持つスクールカウンセラーを配置し、子供や保護者への心のケア・支援を行う。	1,690
外国語指導推進事業	外国語教育の充実と国際理解教育推進向上を図る。 ・外国語指導助手（ALT）配置 （中学校及び小学５・６年対象）	6,065
施設改修事業	施設の整備を行い教育環境の向上を図る。 ・電子錠設置 （R5 から繰越事業　エアコン設置工事）	1,995 (13,449)

施策名：プログラミング教育環境の整備（社会教育総務費）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
プログラミング教育事業	小学校学習指導要領が令和２年度に改訂され、プログラミング教育が必修化されたことに伴い、体験の場を通じて子供たちのプログラミング的思考を育てる。（R6 は科学体験も実施）	1,030

施策名：高齢者の学習活動支援（社会教育総務費）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
高齢者教育推進事業	高齢化社会にあって、高齢者が生涯学習を通じて生きがいづくり及び社会参加を行う等の事業を開催。ボランティアや地域づくりの促進を図る。	785

施策名：文化芸術鑑賞、芸術・文化活動の支援振興（社会教育総務費）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
青少年教育推進事業	青少年に芸術鑑賞や交流体験の機会を提供し、心の豊かさやゆとりを実感できる文化活動の振興･発展を図る。	3,209
文化推進事業	各種芸術鑑賞機会を提供するとともに、地域文化活動の推進と全村的な文化活動の振興･発展を図る。	4,291

施策名： 学校の運営及び支援（社会教育総務費）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
コミュニティ・スクール推進事業	家庭･地域それぞれの人たちが学校運営協議会を通して学校運営に参画し、地域とともにある学校へ転換するとともに、コミュニティ・スクール委員会を設置し、関係機関と連携し協議を進める。	3,216

施策名：スポーツの振興、活動の支援（保健体育総務費）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
スポーツ振興事業	スポーツを通じて住民の体力づくりや地域づくりを行い、スポーツ活動の振興･発展を図る。	3,495

施策名：社会体育施設の充実（体育施設費）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
体育施設管理事業	民間事業者による指定管理を導入し、利用の促進を図る。（㈱オカモトによる指定管理）	44,715
	・柔剣道場管理業務	(1,596)
	・コミュニティプール管理業務	(23,376)
	・農業者トレーニングセンター管理業務	(19,744)
体育施設改修事業	効率的な改修を行い、施設の長寿命化と社会体育体制の確保を図る。	
	・運動広場改修 （野球場バックネット改修、屋外トイレ改修）	(19,833)

施策名：給食の安心・安全の支援（学校給食費）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
ふるさと給食事業	更別産をはじめ安全・安心な食材を学校給食に使用し、児童生徒の健全な身体及び人格形成に資するとともに、自然の恩恵、生産過程、携わる人々、食文化等への理解を深める。	1,172
学校給食費無償化事業	小中学生の保護者の経済的負担の軽減を行い、子育て支援の充実を図る。	13,983

施策名：教育環境の充実（学校給食費）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
学校給食センター改築事業	老朽化が著しく学校給食衛生管理基準に適合していない学校給食共同調理場を移転改築し、令和８年４月から供用開始するため、令和５年度基本設計、６年度実施設計、７年度本工事、８年度旧施設解体工事を行う。	9,548

施策名：教育体制の充実（研究・学芸奨励事業補助金）　【単位：千円】

事　業　名	事　業　概　要	決算額
学校教育推進協議会助成事業	学校教育の指導向上のため研究実践活動･教員の研修等を行い、自ら学び自ら考える力の定着など、生きる力を育む教育の推進を図る。	1,744
小中学校文化・スポーツ大会派遣事業	児童・生徒の全道・全国大会への派遣支援として助成を行い、文化・スポーツの推進を図る。	1,591

６． 頑張る子供たちへの支援

児童・生徒等の各種大会出場及び結果

大会名	派遣先	派遣月日	被派遣者	成　績
全農杯2024年度北海道卓球選手権大会（ホープスの部）	千歳市	R6. 5.18 ～19	吉根　琉生 （更小６年）	男子シングルス初戦敗退
高円宮杯第44回全日本学童軟式野球大会木ドナルドトーナメント北北海道大会	網走市、 大空町	R6. 6.22 ～24	更別野球少年団 更別ジャガーズ	一回戦敗退
2024年度北海道卓球選手権大会（カデットの部）	帯広市	R6. 9.14 ～15	原田　樹生 廣澤　大志 吉根　陸翔 （中央中２年） 森田　修司 （中央中１年）	13歳以下男子シングルス 森田修司：２回戦敗退 14歳以下男子シングルス 原田樹生：１回戦敗退 廣澤大志：１回戦敗退 吉根陸翔：１回戦敗退
第54回道道中学部強化研修大会兼クリスマスカップ派遣選手権選考大会	美唄市	R6.10.18 ～20	富士野　妃南 安村　妃菜多 （中央中２年）	交流戦１・２位トーナメント１回戦敗退
第40回道新杯北海道中学選抜卓球大会	帯広市	R6.12.27 ～28	原田　樹生 廣澤　大志 田村　光一朗 貫田　海晴 山内　聖椰 吉根　陸翔 （中央中２年） 森田　修司 （中央中１年）	男子団体戦 順位別２位トーナメント 準決勝敗退

第 55 回北海道中学校スケート大会	苫小牧市	R7. 1.10 ～12	〈男子〉 森田　蒼平 （中央中３年） 田村　光一朗 （中央中２年） 太田　佳来 （中央中２年） 〈女子〉 本多　留樹菜 （中央中３年） 髙久　絢未 （中央中２年） 松野　七星 （中央中１年）	 500m：14 位 1,000m：22 位 500m：31 位 1,000m：41 位 3,000m：21 位 5,000m：29 位 1,500m：棄権 3,000m：22 位 500m：29 位 1,000m：41 位 500m：28 位 1,000m：17 位
第 45 回全国中学校スケート大会	長野県 長野市	R7. 1.30 ～2. 5	〈男子〉 森田　蒼平 （中央中３年） 太田　佳来 （中央中２年） 〈女子〉 本多　留樹菜 （中央中３年） 松野　七星 （中央中１年）	 500m：26 位 1,000m：17 位 3,000m：65 位 5,000m：44 位 1,500m：34 位 3,000m：36 位 500m：40 位 1,000m：33 位
令和６年度北海道中学生インドアソフトテニス研修大会	滝川市 美唄市 新十津川町	R7. 2.15 ～16	富士野　妃南 安村　妃菜多 阪本　ゆうな 道券　小百合 濵口　芽衣紗 中屋敷　紗久 （中央中２年）	富士野・安村ペア 予選ブロック１位 １位リーグ戦敗退 阪本・道券ペア 予選ブロック４位 ４位トーナメント優勝 濵口・中屋敷ペア 予選ブロック４位 ４位トーナメント敗退

７．その他

○ 令和６年度各会計決算資料の掲載事項

＊学級数・児童生徒数・教職員数の状況（P13）　＊農村環境改善センター利用状況（P14）
＊農業者トレーニングセンター利用状況（P14）　＊柔剣道場利用状況（P14）
＊コミュニティプール利用状況（P15）　＊学校等別給食日数の状況（P16）
＊学校給食主食形態別内訳（P16）

第２章　第６期更別村総合計画に基づく評価

第 ２ 章 の ポ イ ン ト
平成 29 年度に策定された「第６期更別村総合計画」（計画期間 2018 年度から 2027 年度・以下「総合計画」という。）に沿って教育委員会活動の点検・評価を行っています。 具体的には、総合計画の基本計画が全６章で構成される中で、教育委員会に関係する第５章「人が育つまちづくり」中の目標について、令和６年度の実施状況を中心に点検し評価を行っています。

1　社会教育

【基本的な考え方、取り組み方針】

「社会教育中期計画」に示す社会教育振興の基本方針に基づき、生涯学習の観点に立った住民の自主的な社会教育活動を推進します。

【施策】

・社会教育を推進する体制の充実
・社会教育に関する情報提供の充実
・学習機会の提供、充実
・高齢者の学習活動支援

◇推進状況

目　　標	**社会教育を推進する体制の充実**
現状・成果	中札内村との広域連携事業として園児及び小中学生を対象に青少年劇場を開催し、普段目にすることのできない芸術鑑賞の機会を提供した。 また、高齢者学級の二村交流事業についても引き続き実施し、二村住民の親交を深める機会となった。 社会教育施設は、必要な予算計上と利用調整を行い、適正管理に努めた。
課　　題	各分野ごとに精通した指導者の育成は、限られた人材の中で難しい課題である。 社会教育施設は経年と共に突発的な修繕等が考えられるが、利用に支障が生じないよう、計画的な改修等を進めていく必要がある。

目　　標	**社会教育に関する情報提供の充実**
現状・成果	広報紙・折込・防災無線・ホームページを活用し、各種情報を随時提供している。 各団体・サークル活動の紹介は頻繁に行ってはいないが、文化関連なら総合文化祭や総合誌さらべつで作品を紹介。スポーツ関連なら広報紙上で大会結果をお知らせし、際立った活動は広報担当で取材の上、紙面掲載を行っている。
課　　題	教育委員会主催事業はお知らせや募集など適時情報を発信しているが、自主運営団体等については発信がないと活動が見えづらい部分もあり、会員の固定化や高齢化に繋がり運営に支障が生じるケースもある。

目　　標	**学習機会の提供、充実**
現状・成果	新規講座を取り入れながら開設し、学習機会の提供を行っている。住民の学習ニーズに対応できるよう、指導者等の情報提供や講座開設に努めている。 学習成果の発表及び学習意欲向上の機会として、総合文化祭は重要な役割を担っている。
課　　題	講座の開設は、自主運営活動に繋がるような内容で進めていく必要がある。 講座の指導者は村内での人材確保が困難であり、村外講師に頼っているのが実情である。

目　　標	**高齢者の学習活動支援**
現状・成果	高齢者の学習機会の提供として「末広学級」への活動支援を実施。毎月第２・４水曜日の学級開設のほか、各部による活動も精力的に行われている。
課　　題	ライフスタイルの多様化等により、新規入級生が少なく生徒数は減少の一途にある。平均年齢も上がっており、役員の担い手確保も難しい状況である。

2　芸術、文化

【基本的な考え方、取り組み方針】

芸術文化を通して心の豊かさやゆとりを実感できるよう、芸術文化に親しむ場や機会をつくります。

更別固有の郷土芸能や文化財等を保護・保存し、後世に継承するため、ふるさと教育を推進します。

【施策】

- **図書室の充実、利用促進**
- **芸術文化活動の支援、鑑賞機会の提供**
- **文化財の保護、活用**
- **郷土芸能、伝統技術の伝承**

◇推進状況

目　　標	**図書室の充実、利用促進**
現状・成果	農村環境改善センター図書室は専任司書を配置し、限られたスペースの中で図書内容の充実に努めている。またイベント開催による利用促進を図る取り組みを行っている。 その他、備付のない蔵書については、他の図書館との相互貸借により対応を図っている。 また、図書室の利用が困難な上更別地域の子供たち向けに毎月２回移動図書館を開設し、利用促進を図った。
課　　題	施設規模の都合で蔵書可能な数量に限りがある。専門書の充実も要望が挙げられた経過があるが、多種多様な専門書を単独で揃えることは現実的ではないため、他図書館との相互貸借体制を構築したところである。 既存スペースの中でできる限りのニーズに応えた図書選定を進めていく必要がある。

目　　標	**芸術文化活動の支援、鑑賞機会の提供**
現状・成果	文化協会を通じて各文化団体への支援を継続して行い、活動促進を図っている。 未就学児童・小学生・中学生向けに毎年中札内村と共同で行っている青少年劇場を開催し、普段接することの少ない本格的な芸術鑑賞の機会を設けた。
課　　題	文化協会加盟単協の中には高齢化と相まって新規会員の確保も苦慮している状況にあり、会員減少・活動停滞が危惧されている。 新たな単協創設のきっかけとなるような講座の展開が求められる。

目　　標	**文化財の保護、活用**
現状・成果	村の歴史上重要な拠点に整備した史跡銘板を維持管理し、歴史の保存意識を深めている。 学術的にも貴重とされている北海道指定天然記念物ヤチカンバは、平成16年度以来の個体数調査を令和4年度実施した結果、当時の3,239本から1,494本まで減少していたため、有識者等の意見を参考に、保護地区内に優先区域を設定し、生育に支障があるエゾヤマナラシの防除及び植生再生試験として地盤の掘り下げを行い、今後の保護対策に活用していく。
課　　題	ヤチカンバは株数減少が顕著であることから、有識者の意見を参考に、引き続き支障樹種の除去等の対策を図る必要がある。

目　　標	**郷土芸能、伝統技術の伝承**
現状・成果	郷土芸能の「さらべつかしわ太鼓保存会」、「スッチョイサ踊り保存会」への活動支援を行っており、例年村内外の行事等で活動成果を発表している。 かしわ太鼓保存会は少年部の指導を通じて後継者育成を図っており、スッチョイサ踊り保存会は社会教育事業（子供交流事業など）と連携し、小学生の体験活動を通じて普及活動に努めている。
課　　題	スッチョイサ踊り保存会は、高齢化、後継者不足が続いており、引き続き、後世に残す方策が必要。

3　スポーツ

【基本的な考え方、取り組み方針】

明るく豊かで活力に満ちた社会づくりや住民の心身の健全な発達を促進するため、生涯にわたってスポーツに親しめるよう努めます。

【施策】

- **スポーツ施設の充実**
- **スポーツの振興体制づくり**
- **スポーツに関する活動の促進**

◇推進状況

目　　標	**スポーツ施設の充実**
現状・成果	屋内施設では、農業者トレーニングセンターをはじめ、柔剣道場、コミュニティプール、地区体育館、学校開放事業施設の適正管理に努めている。 屋外施設では、更別運動広場、ソフトボール場及びテニスコートに照明施設を設置し夜間の利用にも対応している。 また、道東地区で盛んなスピードスケート振興のため、村民グラウンドに冬季間スケートリンクを整備。外部委託による上質な製氷管理を行っているが、温暖化の影響により降雪が例年より遅く、造成及び管理に影響があった。 その他、他課管理施設として、ふるさと館屋内広場・屋外広場、屋内ゲートボール場、どんぐり公園パークゴルフ場等もあり、幅広くスポーツ活動の場として利用されている。
課　　題	令和５年度より民間企業による指定管理業務を実施し、民間ノウハウを得て各施設の有効利用を図れるよう、支援等を図っている。 施設管理については、経過年数や劣化状況を見ながら、計画的な改修を進める必要がある。

目　　標	**スポーツの振興体制づくり**
現状・成果	スポーツ活動の指導者確保並びに技術向上に向け、研修派遣助成制度を設けて指導者育成を促進している。
課　　題	求められる指導者像は各団体により異なることから、相談があった場合は活動継続に繋がる体制づくりをサポートする必要がある。

目　　標	**スポーツに関する活動の促進**
現状・成果	少年団及び成年層で組織する各スポーツ団体の自主的な運営に対して活動支援を行っている。 令和５年度からトレーニングセンターを指定管理者制度を活用し、民間業者による運営を実施したが、曜日毎に種目別スポーツの日を定めていることも継続しており、利用しやすい環境整備に努めている。
課　　題	スポーツは、個人の体力等に応じて自主的に取り組めることが重要であり、無理をせず継続し、健康増進に繋げられるよう普及することが必要である。 一部のスポーツ団体においては、新たな会員増につながらず、大会等の運営に苦慮している場合がある。

4　子育て支援

【基本的な考え方、取り組み方針】

子供を安心して産み育てられる子育て支援環境づくりに取り組みます。

【施策】

- **子育ての支援体制、サービスの充実**
- **子育てへの不安の解消**
- **子供が遊ぶ場や機会の拡充**

◇推進状況

目　　標	**子育ての支援体制、サービスの充実**
現状・成果	本項目で教育委員会が所管する取組は幼保小の連携の部分であり、更別小学校区では幼保小の園児・児童の交流活動、上更別小学校区では幼小合同の運動会及び学習（保育）発表会等を行っている。また、様々な場面で教職員同士の情報交換を実施している。
課　　題	煩雑な教職員業務の中で効率的に調整を行い、必要な部分の連携を深化させていくことが求められる。

目　　標	**子育てへの不安の解消**
現状・成果	各幼稚園及び小・中学校の家庭教育学級へ、活動支援を継続。 各校で子供たちの様子に目配りしながら虐待の早期発見に努めている。 子育てに係る経済的負担軽減策では、要保護・準要保護児童就学援助、特別支援教育就学奨励、学校給食費無償化、中央中から更農高へ進学する生徒への被服購入支援を実施している他、令和５年度より高校生等入学支援金事業を実施し、経済的負担の軽減を図っている。
課　　題	物価上昇の影響により各家庭の経済状況が厳しさを増す中、必要な支援を進めていく必要がある。

目　　標	**子供が遊ぶ場や機会の拡充**
現状・成果	教育委員会が所管する施設で子供たちが自由に遊べる空間として、屋外では更別農村公園・更別運動広場・上更別運動広場を、屋内では農業者トレーニングセンター（２階含む）・改善センターロビーを整備し、ホームページや子育て応援課作成の「子育て応援ガイド」で紹介している。 小・中・高校生、地域住民、高齢者との交流を、社会教育及び学校教育それぞれの分野で実施している。
課　　題	子供たちの活動は多様化しており、居場所の在り方は適宜検討していく必要がある。

５　学校教育

【基本的な考え方、取り組み方針】

児童・生徒一人ひとりが、地域でのびのびと学校生活を送れるよう、教育環境と教育内容の充実に努めます。

【施策】

- **小中学校の教育環境の充実**
- **小中学校の教育内容の充実**
- **教育体制の充実**
- **高等学校教育の振興・支援**

◇推進状況

目　　標	**小中学校の教育環境の充実**
現状・成果	学校施設は築年数が嵩んでいることから、長寿命化を図るため、計画的に整備を進めている。 中学校校舎については、耐力度調査の結果と村全体の施設整備状況を考慮し、なお時間をかけて検討することとした。 学校給食センターは築年次が古いため、国の現在の学校給食衛生管理基準に適合しておらず、老朽化による不具合も生じていることから令和７年度に移転改築工事を実施することが決まっており、今年度は実施設計業務を行った。 情報教育の部分では、ＧＩＧＡスクール構想に基づく校内通信ネットワーク環境整備と一人１台端末の導入を行っているが、更なる充実を図るため、効率的な授業展開に資する問題データベースやタブレットドリル、教師用デジタル教科書などを導入している。 スクールバス車両は、総合計画に基づき近年中に更新予定。運行委員会の意見を踏まえて効率的な運行体制の確立に努めている。
課　　題	校舎整備は年次的に計画を立てているが、経年とともに突発的な修繕も発生している。学校以外の公共施設も同時期に建設したものが多いため、財政部局と協議をしながら、効率的な整備を進めていくことが求められる。 学校給食センターは、基本設計及び実施設計業務が終了し、いよいよ本工事に入る段階まで来たが、工事及び機器・物品納入等が期限内に完了するよう、村建築担当並びに工事等落札業者と調整を密にし、遺漏のないよう進めていく必要がある。 ＧＩＧＡスクールは、設備の保守管理や端末更新等に多額の費用を要することが予想されるため、様々な場面を通じて国へ補助の新設要望を行っている。 スクールバスは国庫補助の対象だが、自己負担も伴うため、真に必要な車両を厳選することが求められる。

目　　標	**小中学校の教育内容の充実**
現状・成果	学力向上へ向けては、学習指導要領の趣旨を踏まえて基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、問題発見・解決能力等の資質・能力を育成し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業となるよう年間指導計画に基づき取り組んでいる。 今年度実施した全国学力・学習状況調査では、小学校は国語は全国平均を下回り、算数においては全国平均を上回り、中学校では国語・数学の全ての教科で全国平均を上回る結果となった。 体力向上の面では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において小学校男子で全８種目中６種目、女子は５種目で全国平均を上回り、中学校男子は全８種目中２種目、女子は６種目で全国平均を上回る結果となった。 小・中学校間は円滑な接続に向けた連携が重要であることから、校長会議、教頭会議をはじめ、教育研究所や教育支援委員会等の場を活用し、管理職のみならず教諭段階においても積極的に情報交換を行っている。また、スムーズな中学校生活に繋げられるよう、小学校２校の合同修学旅行を実施し、児童同士の理解を深める一助とした。 特別な支援を要する児童生徒へのきめ細やかな教育環境確立に資するため、各学校に引き続き支援員を配置した。 安全安心な学校給食を提供するため、ＪＡさらべつをはじめ、納入先を厳選して食材選定を行った。 令和２年度から教科化された小学５・６年生の外国語授業へは、中札内村と共同で専科教諭を配置し、教育体制の充実を図ったところである。外国語指導助手（ＡＬＴ）についても引き続き配置し、専科教諭と共にコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成を図った。 ふるさと教育については、小学３・４年生段階で副読本を使った地域の歴史・産業等の学習をはじめ、コミュニティ・スクールを介した地域人材の協力による授業支援等を幅広く実施した。
課　　題	学力・体力とも全国平均を上回る結果となっているが、項目別では全国平均を下回っている項目もあることから、検証サイクルと指導方法を更に工夫改善し、向上へ向けた取組を進める必要がある。 特別支援教育支援員の存在は重要であることから、求める人材の確保に努める必要がある。 不安定な国際情勢や猛暑等の影響で、学校給食に必要な食材の仕入に影響が出たり価格の高騰が続いている。食材料の調達に遺漏のないよう関係業者と一層連携を図るとともに、適正な給食単価の設定に努める必要がある。 インターネットの普及により国際化は益々身近になっており、次代を担う子供たちにとって外国語を通じたコミュニケーション能力の育成は重要であることから、専科教諭の継続配置に向けた取組が必要である。

目　　標	**教育体制の充実**
現状・成果	教職員の指導力向上に向けた取組については、村教育研究所、十勝教育研修センター、道立各教育センター等の研修機関への積極的な参加を奨励しているほか、中札内村との指導主事共同設置事業を継続しており、教職員への指導、助言、情報提供等、専門的なスキルをもって教育力の向上が図られている。 コミュニティ・スクールは５年目に入り、前年度決定した「子どものネット・スマホ・ゲームとの付き合い方ルール宣言」の実施状況について、各学校運営協議会及びコミュニティ・スクール委員会での情報共有や、小中学校児童会・生徒会によるどんぐり子ども会議での状況確認を行った。 不登校児童・生徒への対応や発達に不安のある家庭への支援のため、スクールカウンセラーを２名を配置しており、相談体制を構築することができた。 教職員住宅は築年数が嵩んでいる棟もあるが、必要な改修等を行い適正管理に努めた。
課　　題	指導主事の存在は大きく継続配置を望むところであり、中札内村との調整を進めていく必要がある。 コミュニティ・スクールは、積極的な活動展開や情報発信により年を追うごとに地域への浸透が図られていると感じているが、より地域総がかりで子供たちを育てる意識を醸成するため、継続した取組が必要である。 スクールカウンセラーは限られた人材が管内複数校を兼任している状況から、本村の希望どおりにはいかない部分がある。 一定の経年状況にある教員住宅は整備を考えなければならないが、今後の学校整備の在り方に大きく左右されるものである。

目　　標	**高等学校教育の振興・支援**
現状・成果	道立更別農業高等学校の教育振興及び地域に根ざした信頼ある学校づくりを進めるとともに、生徒確保に向けた様々な事業に対し支援を継続した。
課　　題	地域へ密着した学校であり存在意義は大きく、生徒確保は最重要課題であるが、少子化と相まって管内他校でも同様の支援を行っており、確保は容易ではない。 生徒数減が支援額増に繋がる事業もあることから、財政状況を考慮しつつ最大限の効果を得られるよう、内容を精選し支援を継続する必要がある。

６　青少年育成

【基本的な考え方、取り組み方針】

家庭・学校・地域と連携し、地域とのかかわりを通して青少年の健全な育成に努めます。

【施策】

・青少年育成を推進する意識づくり、体制の充実
・青少年を育成する活動の促進

◇推進状況

目　　標	**青少年育成を推進する意識づくり、体制の充実**
現状・成果	村では子供たちの健やかな成長を、地域・家庭・学校が一体となって見守り育てていくことを目的に「更別村教育の日」を制定している。２月第３日曜日に「更別村の教育を考える村民集会」を開催し、地域が子供たちを育む意識の醸成を図った。 コミュニティ・スクールでは、令和２年度に策定したアクション・プランの施策として、子供の自己肯定感を高めるために家庭・地域・学校はどうすればよいか熟議を重ねている。また子供たちはいじめ根絶、インターネットとのよりよい付き合い方についてどんぐり子ども会議を通じ、自分事として取組を進めた。 家庭教育学級・ＰＴＡ活動の充実に繋げるための運営支援も継続している。
課　　題	青少年健全育成には、地域総がかりで育てる意識の醸成が肝要。その中でコミュニティ・スクールの活動は活発であり、更なる意識付けを目指した取組と情報発信が重要である。

目　　標	**青少年を育成する活動の促進**
現状・成果	少年団活動は、子供のうちから団体生活での社会性・自主性を育む良い機会であるため活動支援を継続。ほか、地域子ども会への活動助成、こども夢基金を活用した子供たちの多様な体験への事業支援を行っている。 勤労青年で構成する「更別村農村青少年連合会」は、これからの地域を担う人材が集まっていることから育成のための活動支援を継続している。
課　　題	現在支援を行っている事業の活動状況を随時確認し、効果を発揮するような対応を図る必要がある。 こども夢基金事業は、内容見直しにより活用の幅を広げたところだが、多くの方に利用してもらえるよう、引き続き情報発信を行う必要がある。

7　国内外交流

【基本的な考え方、取り組み方針】

既存の地域間交流の推進とともに、国内外との交流の枠が広がる取り組みを進めます。

国際化に対応したまちづくりを進めます。

【施策】

・国内地域との交流の促進
・国外との交流、国際社会に対応した地域づくり

◇推進状況

目　　標	**国内地域との交流の促進**
現状・成果	地域ボランティアの協力の下、宮城県東松島市の子供たちと相互に訪問を行っている「海と大地子ども交流事業」は、小学５・６年生を対象に更別村を会場に実施した。
課　　題	ホームステイにより子供を含めた家族間同士の相互交流による絆を深め、継続した交流促進を大きな目的としていたが、東日本大震災以降、環境の変化によりホームステイが難しい状況は続いており、今後も交流内容等を精査していく必要がある。

目　　標	**国外との交流、国際社会に対応した地域づくり**
現状・成果	令和元年度から国際交流員を配置し、各種行事や各段階ごとの英会話教室を開設していたが、急遽退職することとなり、民間業者からＡＬＴを委託派遣契約により配置し、幼稚園や各学校での交流やネイティブスピーカーとしての役割を果たしている。 令和２年度からの開始を計画していた中学生海外研修「飛び出せワールド」事業は、ロシアによるウクライナ侵攻に伴う世界情勢の不安や、円安に伴う経費が膨大になることから、令和６年度は国内での外国人とのフィールドワークやホームステイ体験を実施した。
課　　題	国際化の急激な進展により世界が身近に感じられる時代であり、国際理解や感覚の醸成へ向けた取組を進めていく必要がある。 飛び出せワールド事業は、今後の世界情勢や内容を含め、関係機関と連携を図りながら実施できるよう進める必要がある。

◇ データ

○ 幼稚園数及び園児数の推移

区分	組、園児数 / 幼稚園名	組、園児数									
		Ｒ２年度		Ｒ３年度		Ｒ４年度		Ｒ５年度		Ｒ６年度	
幼稚園	更別幼稚園	3	38	3	39	3	39	3	29	3	18
認定こども園	上更別幼稚園	5	14	5	19	5	18	5	16	3	9
	計	8	52	8	58	8	57	8	45	6	27

○ 小・中学校数及び児童生徒数の推移

区分	組、児童数 / 学校名	組、児童・生徒数									
		Ｒ２年度		Ｒ３年度		Ｒ４年度		Ｒ５年度		Ｒ６年度	
小学校	更別小学校	11	137	11	138	11	128	11	127	12	121
	上更別小学校	5	19	5	19	6	21	6	22	5	25
	小　計	16	156	16	157	17	149	17	149	17	146
中学校	更別中央中学校	6	87	6	89	6	91	6	91	6	83
	計	22	243	22	246	23	240	23	240	23	229

※ 北海道立更別農業高等学校生徒数の推移　　（参考）

	組、生徒数 学科名	組、生徒数									
		Ｒ２年度		Ｒ３年度		Ｒ４年度		Ｒ５年度		Ｒ６年度	
農業高校	農　業　科	3	59	3	60	3	56	3	45	3	39
	生活科学科	3	57	3	47	3	39	3	45	3	63
	計	6	116	6	107	6	95	6	90	6	102

○ 学校別給食日数（令和６年度）

（単位：日・食）

区　分	給食供給日数	食　数
更 別 小 学 校	197	27,957
上更別小学校	194	6,701
更別中央中学校	195	18,759
幼　　稚　　園	171	3,988
調　　理　　場	201	1,256
試　　食	183	436
計	1,141	59,097

○ 学校給食主食形態別内訳（令和６年度）

（単位：回・食）

区　分	パ　ン	米　飯	めん類	計
回　数	42	121	38	201
食　数	12,245	34,203	10,957	57,405

○ 教職員住宅の管理状況（令和６年度）

学校名	面積(㎡)	建築年度	戸数	経過年数	備　考
更別小学校	69.22	S59	2	40	A-1、A-2
	69.22	S63	2	36	B-1、B-2
	69.22	S59	2	40	C-1、C-2
	74.82	H 7	2	29	D-1、D-2
	74.82	H 7	2	29	E-1、E-2
	74.82	H 9	2	27	F-1、F-2
	小計		12		
上更別小学校	79.38	S56	1	43	A
	79.38	S58	1	41	B
	63.61	S59	2	40	1-1、1-2
	63.61	S59	2	40	2-1、2-2
	63.61	S61	2	38	3-1、3-2
	小計		8		
更別中央中学校	79.37	H13	2	23	A-1、A-2
	61.56	S52	1	47	C
	61.56	S53	1	46	D
	60.75	S54	1	45	E
	60.75	S54	1	45	F
	60.75	S55	1	44	G
	小計		7		
合　計			27		

８．令和６年度　教育委員会の事務・事業　評価

（１）評価の目的

評価は、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）というサイクルの中に位置付けられており、成果による施策・事業の管理（マネジメント）を実現するための手法の一つです。

評価の実施によって事務・事業の現状把握や施策の効果測定を行い、課題解決のための意識改革や共通認識の向上を図ることにより、「予算という目的主義から効果や達成度が反映される決算重点主義への転換」と「マネジメントサイクルの確立による効率的な教育行政運営」を目指します。

（２）評価の区分

①一次評価～政策重視、スクラップ・アンド・ビルドの原則のもと、事務局による、所管する事務・事業の評価

②教育に関し学識経験を有する者の知見による指導助言

③最終評価～教育委員会議による一次評価に対する最終評価

（３）評価書のランク

評価は事業効果と継続要因の高低によりＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４ランクに区分し、事務・事業優先度、見直し対象の区分を行い、次年度以降の執行にあたり効果的な教育行政の運営を目指します。

（事業効果）

↑高い	B	A
低い↓	D	C

←低い　　高い→（継続要因）

Ａ＝最優先 － 最優先で施策として実施する（事務・事業）

Ｂ＝上　位 － 効果は高くても継続要因の低いもの

Ｃ＝中　位 － 効果は低くても継続要因の高いもの

Ｄ＝下　位 － 廃止や統合など事務・事業の見直し対象

（4）事務・事業ごとの評価

○ 事務・事業評価書

1）学校教育関係

No	予算科目	事 業 名	ランク	No	予算科目	事 業 名	ランク
1	教育総務費	更別小学校開校100周年事業	B	13	中学校費	スクールカウンセラー配置事業	A
2	教育総務費	更別農業高校生徒確保等支援事業	A	14	中学校費	外国語指導推進事業	C
3	教育総務費	更別農業高校教育支援事業	A	15	中学校費	学校施設維持管理事業	A
4	教育総務費	高校生等入学支援事業	A	16	中学校費	学校施設改修事業（電子錠設置工事）	B
5	教育総務費	指導主事共同設置事業	A	17	中学校費	就学援助事業	A
6	教育総務費	こども夢基金事業	A	18	保健体育費	ふるさと給食事業	C
7	小学校費	特別支援教育支援員配置事業（２校）	A	19	保健体育費	給食費無償化事業	A
8	小学校費	外国語指導推進事業	C	20	保健体育費	学校給食センター改築事業	B
9	小学校費	学校施設維持管理事業	A	21	教育諸費	教育奨励事業	A
10	小学校費	学校施設改修事業【グラウンド改修工事、高圧受電設備移設工事、記念樹移植、浄化槽解体工事、スケート管理棟受電工事（更小）、電子錠設置工事、保健室カーテン取付工事（更小）（上更小）】	B	22	教育諸費	研究奨励事業	A
				23	教育諸費	学校スケートリンク造成管理事業	C
				24	教育諸費	各種文化・スポーツ大会派遣事業	A
11	小学校費	就学援助事業	A	25	教育諸費	学芸奨励事業	A
12	中学校費	特別支援教育支援員配置事業	A				

２）社会教育関係

No	予算科目	事 業 名	ランク	No	予算科目	事 業 名	ランク
1	社会教育費	生涯学習推進事業	A	12	保健体育費	スポーツ振興事業	A
2	社会教育費	青少年教育推進事業	A	13	保健体育費	柔剣道場維持管理事業	C
3	社会教育費	成人教育推進事業	A	14	保健体育費	運動広場維持管理事業	C
4	社会教育費	高齢者教育推進事業	A	15	保健体育費	運動広場改修事業（バックネット等改修、屋外トイレ改修工事）	C
5	社会教育費	文化推進事業	A	16	保健体育費	農村公園維持管理事業	C
6	社会教育費	図書室運営事業	C	17	保健体育費	地区体育館維持管理事業	D
7	社会教育費	国際交流事業（飛び出せワールド代替事業）	C	18	保健体育費	コミュニティプール維持管理事業	C
8	社会教育費	文化財等保存事業（ヤチカンバ保護地域説明看板更新）	C	19	保健体育費	トレーニングセンター維持管理事業	C
9	社会教育費	コミュニティ・スクール推進事業	A	20	保健体育費	村民スケートリンク造成管理事業	A
10	社会教育費	農村環境改善センター維持管理事業	C				
11	社会教育費	農村環境改善センター改修事業（エアコン設置）	B				

９．更別村教育委員会の活動状況に関する点検・評価等に対する指導・助言事項

頁	点検・評価事項	指導・助言事項
30	小中学校の教育環境の充実 （学校施設について）	上更別小学校、中央中学校の体育館には和式トイレしかない。体育館の洋式化を進めるべきではないか。
32	教育体制の充実 （教員住宅について）	教員住宅にはエアコンがないため、近年の猛暑と公共施設へのエアコン設置の状況を考えると設置の必要があると考える。

〇指導・助言者　　・ 我妻　一則　（前更別村社会教育委員　委員長）
　　・ 原田　憲未　（更別村ＰＴＡ連合会長）